

美術Academy&Schoolとアイトラベルスクエアのコラボ企画！

Online美術講座「絵師たちの戦国時代」全3回

- ニッポン絵画の黄金期・安土桃山～江戸期の絵画の系譜と特徴を学ぶ -

世界に誇るニッポンの絵画と聞いて、何を思い浮かべますか？

多くの皆さんが、安土桃山時代から江戸期にかけての、金箔に描かれた豪快な襖絵や屏風絵を思い浮かべるのではないのでしょうか。確かに、狩野永徳を始めとする有名絵師達が割拠するこの時代は、ニッポン絵画の黄金期と言えますが、各流派が登場した背景やその系譜については、意外に知られていないのではないのでしょうか？

そうした皆さんに、今回の講座では、ニッポン絵画が華やかに展開した安土桃山から江戸期を中心に3回シリーズで解説します。初回は狩野派とその強烈なライバル関係にあった長谷川等伯、第2回はまた別の流れである俵屋宗達や琳派の絵師たちについて。彼らの代表的作品を追いながら、単なる作品紹介にとどまらず、我が国独特の絵画表現や、日本文化全体のなかでのニッポン絵画の特徴を明らかにしていきます。そして第3回では、これらの絵画が書院や城郭をどのように彩ったのか、室町期にさかのぼって、私たち日本人の文化や生活習慣との関係を見ていきます。

これまで知らなかったニッポンの絵画に関する話が盛りだくさん。この講座を通じて魅力あるニッポン絵画をより深く理解して、その魅力を世界に伝えましょう！

◎ 日時： **3回シリーズ 10月13日(火)、10月27日(火)、11月10日(火)**
14:00～16:00 (講義100分、質疑応答20分)

日程が
変わりました

●見逃し配信(2日間)：ライブで参加できなかった方、復習したい方のために、2日間だけ講義録画をYouTubeにて限定配信！(Gmailアドレス保有者限定のサービスとなります)

◎ 講座内容：

	日程	タイトル	内容
テーマ：安土桃山～江戸期のニッポンの絵画の系譜と、日本文化や生活習慣と絵画との関係を探ります			
1	10月13日(火)	狩野永徳 vs 長谷川等伯	狩野派、長谷川等伯など有名絵師が描いたハレと日常
2	10月27日(火)	俵屋宗達から尾形光琳へ	琳派とは何か？絵師の系譜とその特徴とは
3	11月10日(火)	日本人の生活空間と絵画	日本文化の核心！日本絵画はいかに飾られたのか？

◎ 講師： 藤浦 正行 先生



MOA美術館学芸課長、太田記念美術館事務局長を経て、現在はNPO美術研究センター副理事長。美術Academy&School 講師。専門は日本彫刻史、仏教絵画史。都内近郊カルチャーセンター等で活躍。著書に『岩佐又兵衛』(新潮社)。



●狩野永徳筆 唐獅子図 宮内庁三の丸尚蔵館 (パブリックドメイン)

◎ 参加費用： お一人様 **各回とも2,000円(税込み)**
特別割引 全3回すべて同時お申込みの場合 6,000円 → 5,500円!

◎ お申込み・お支払い： 当社ホームページ(以下)から、クレジットカード決済のみ
<https://i-travel-square.tokyo/seminar/japanese-art/online>

◎ キャンセル料： お申込み～4日前 5%(カード決済手数料)、3日前～当日100%

◎ 最少催行人数： 25名様 (最大98名様まで)

◎ お問い合わせ： 株式会社アイ・ティ・エス (i Travel Square)
 E-mail: info@i-travel-square.tokyo Tel: 03-6706-4700